資料 No.2

総合計画第５次基本計画

分野別計画
（めざすまちの姿１～４）

にぎわい部会

めざすまちの姿１

強い経済基盤と持続可能な産業がある

成果目標（５年後の到達目標）

製造品出荷額等 （令和５年度）　4,998 億円/年 ⇩ （令和 13 年度）5,800 億円/年	開業件数（累計） （令和 13 年度まで） 70 件以上
林業就業者数 （令和５年度）　42 人 ⇩ （令和 13 年度）　42 人以上	園芸作物の出荷額 （令和７年度）　113,464 千円/年 ⇩ （令和 13 年度）116,867 千円/年

ＫＰＩ（重要業績評価指標）

指標名	基準値	R13 年度 目標値
新分野・新事業の展開等への支援件数（累計）	－	250 件
養成スクール修了生の内、伝統工芸産業に従事する人数（累計）	－	80 人
企業の設備投資件数（累計）	－	50 件
森林整備面積（累計）	－	150ha
奨励する園芸作物を生産する農業者数	（令和７年度） 44 人	50 人

１　強い経済基盤と持続可能な産業がある

（１）ものづくり産業の強化

現状と課題

●社会構造の変化やライフスタイルの多様化により、様々な価値観が生まれ、市場ニーズへの対応が難しくなっています。持続可能な産業の発展には、各企業において新技術や新製品の開発が必要です。

●本市の地場産業・伝統産業は、近年、売上が減少傾向にあることに加え、人口減少に伴う市場規模の縮小も予測されており、各企業における新たな販路開拓が必要です。

●高岡銅器、高岡漆器、越中福岡の菅笠などの伝統産業は、事業者数・従事者数などが減少傾向にあり、後継者人材の確保と伝統技術の継承が求められています。

施策の展開

新事業展開の促進

○持続可能な地域産業の発展のため、地域事業者のものづくり技術等を活かした新技術や新製品の開発等を支援し、地域産業の持続的な成長、イノベーションの創出に取り組みます。

国内外への販路拡大

○人口減少に伴う市場規模の縮小においても経済活動を継続するため、産業支援機関等と連携し、国内外への販路拡大の取組を支援します。

伝統産業の後継者育成

○高岡銅器、高岡漆器、越中福岡の菅笠といった伝統産業について、後継者人材の確保や伝統技術の継承者の育成に向けて、講座の提供や高度な技術の継承に取り組む職人の支援に取り組みます。

今後５年間の主な取組

新事業展開の促進	・ものづくり技術等を活かした新分野・新事業の展開支援
国内外への販路拡大	・ＡＩの活用など新たな時代に対応した販路開拓等に取り組む地域事業者への支援
伝統産業の後継者育成	・伝統産業に関する後継者人材確保への支援 ・伝統産業の高度な技術の継承への支援

１　強い経済基盤と持続可能な産業がある

（２）産業基盤の整備・企業立地の推進

現状と課題

●企業を取り巻く社会経済情勢の急速な変化に対応し、企業活動の活性化を図るため、地域産業の高度化と新たな成長分野の創出といった産業構造の高度化・多角化に取り組む必要があります。また、産業用地の確保や周辺インフラの整備など、企業活動を活発化させる環境整備が求められています。

●中小・小規模企業は国際情勢の変化や災害対応などによる影響を受けやすい傾向にあります。中小・小規模企業の安定した経営基盤を確保するため、円滑な資金供給を支える取り組みが必要です。

施策の展開

戦略的な企業誘致・立地の推進

〇本市のものづくり産業の強みを活かし、国や県の立地支援施策を活用しながら企業活動の高度化・多角化を支援します。

〇企業の進出を促す産業用地を確保し、成長分野をはじめとした戦略的な企業誘致・立地を推進します。

中小・小規模企業向け金融支援

〇中小・小規模企業の安定した経営基盤を確保するため、中小企業融資制度を通じて円滑な資金供給を支えます。

今後５年間の主な取組

戦略的な企業誘致・立地の推進	・企業立地に対する支援・助成 ・産業用地の確保 ・新たな産業団地の確保に向けた調査検討
中小・小規模企業向け金融支援	・中小・小規模企業向け金融支援

１　強い経済基盤と持続可能な産業がある

（３）商業・サービス業の振興

現状と課題

●物価高騰や人手不足により店舗経営は厳しい状況にあります。日々の商業環境の変化に柔軟に対応し、経営改善や業務効率化などによる経営強化の推進が必要です。

●開業支援制度により、新規開業件数は順調に推移していますが、商業活力をさらに高めるためには、相談から事業計画の策定、開業後の伴走支援に至るまでの一貫したサポート体制を確立し、一層の起業・創業を促すことが必要です。

●商店主の高齢化や後継者不足、商店街組合員数の減少により中心商店街等の衰退が懸念されています。魅力があり賑わいのあるまちづくりを推進するため、多様な担い手の参画を促進し、まちの課題解決や将来のあり方を自発的に検討する取組みへの支援が必要です。

施策の展開

個店の経営強化の推進

〇人手不足の解消やＤＸ化による店舗運営の省力化・効率化やインバウンドを含む多様な顧客獲得に向けた取組を支援します。

〇高岡まちなかスタートアップ支援施設「ＴＡＳＵ」や商工団体等が行う経営改善に向けた伴走型支援を後押しします。

起業・創業支援の充実強化

〇起業・創業の相談から事業計画の策定、開業後の伴走支援に至るまで、一貫したサポート体制を確立します。

〇起業・創業希望者が低リスクで挑戦できるテストマーケティングの場を提供するとともに、空き店舗を活用した開業への支援を行います。

多様な担い手の参画促進

〇若手商店主をはじめ、まちづくりに関心のある市民や民間事業者、学生など多様な人材が集うプラットフォームの活動を後押しし、地域の課題共有や将来像を見据えた、実践的な取組（エリアマネジメント等）を支援します。

〇関係機関や事業者との連携により、障がいのある人の能力や適性に応じた就労機会の確保や職場定着を支援するとともに、多様な人材が活躍できる雇用環境づくりに向けた啓発に取り組みます。

今後５年間の主な取組

個店の経営強化の推進	・店舗運営の省力化やＤＸ化など、生産性向上に向けた取組への支援 ・個店の経営強化に取り組む商工団体等に対する支援
起業・創業支援の充実強化	・起業・創業希望者への相談対応及びセミナーの開催 ・テストマーケティングの場となるマーケットイベントの開催支援 ・空き店舗を活用した新規開業への支援
多様な担い手の参画促進	・多様な担い手によるエリアマネジメント活動に対する支援 ・障がいのある人の能力や適性に応じた就労機会の確保や職場定着の支援 ・就労環境における障がい理解の促進

１　強い経済基盤と持続可能な産業がある

（４）持続可能な農林水産業の構築

現状と課題

●本市の農業は、水田を活用した稲作中心の構造となっています。米の需給の見通しが不透明である中にあっても、農業を持続可能なものとするため、農業生産基盤の強化に取り組むとともに、水稲と麦・大豆や園芸作物等を組み合わせた作物の生産に取り組んでいく必要があります。

●本市の畜産業、水産業、林業は小規模事業者が多く、担い手不足が深刻化しています。良好な生産環境づくり、適切な森林経営管理に努め、持続的かつ安定的な経営基盤を構築していく必要があります。

●本市の農産物は、米以外の作物の生産量は少なく、市民が高岡産農産物に触れる機会もまだ少ない状況にあります。農業者の所得安定と生産意欲の向上を図るため、高岡産農産物のＰＲ・販売促進といった高付加価値化に取り組むとともに、学校給食への高岡産農産物の活用に努め、地域で生産したものを地域で消費する取り組みを進めていく必要があります。

●中山間地域は、人口減少や高齢化が進んでおり、農産物の生産条件も地形的に不利な面も多いことから、地域ならではの特性を生かす等、持続的な農業振興を図っていく必要があります。

施策の展開

持続的な水田活用の推進

○農業者が安定的に経営を行えるよう、米の多用途利用等、地域の実情に応じた水田活用モデルを推進し、所得の向上に取り組むとともに、農業の高度化に資する農業機械等の導入や、生産活動を支える共同利用施設の再編集約等の取組を支援します。

○農業水利施設は、食料生産基盤をはじめとする多面的な機能を有することから、老朽化した施設の更新や長寿命化を促進します。併せて、農業の生産性向上に向けた水田の大区画化や汎用化を促進します。

○水田の特性を生かしつつ、安定した収益をもたらす園芸作物の振興を図るため、施設整備等への支援に取り組みます。

○地域の共同活動によって支えられている農業・農村が有する多面的機能が今後とも適切に維持・発揮されるよう支援します。

畜産業・水産業・林業の振興

○畜産業の振興を図るため、家畜疾病による甚大な影響を受けることがないよう、防疫対策などの衛生管理に努め、家畜疾病の発生防止に取り組みます。

○水産業の振興を図るため、栽培漁業への支援や、漁場環境の保全に取り組みます。

○林業においては、森林の多くの人工林が本格的な利用期を迎えています。「伐って、使って、植えて、育てる」という形で、森林整備・保全や木材利用促進に取り組み、森林資源の循環利用を図ることにより、持続的かつ安定的な経営基盤を構築します。

高岡産農産物の消費拡大

○高岡産農産物の消費を促進するため、ＰＲや販売活動・販路拡大への取組へ支援を行い、高岡産農産物の認知度向上に取り組みます。

○農業者の所得向上を図るため、６次産業化などへの取組に対する支援を行い、高岡産農産物の高付加価値化に取り組みます。

○地産地消を進めるため、市内の小中学校等への高岡産農産物の活用促進に取り組みます。

中山間地域の振興

○中山間地域等の生産条件が不利な地域における荒廃農地の発生防止を図るため、農業生産活動や農地等の保全活動への支援に取り組みます。

今後５年間の主な取組

持続的な水田活用の推進	・持続可能な米作りへの支援（米粉の商品開発支援等） ・水田における園芸作物の生産支援 ・大区画化・汎用化、土地改良の促進 ・多面的機能支払交付金による活動組織への支援
畜産業・水産業・林業の振興	・家畜防疫対策の推進 ・畜産、水産物の収益性向上支援 ・森林整備、保全の推進 ・木材利用の促進
高岡産農産物の消費拡大	・高岡産農産物のＰＲや販売促進活動への支援 ・高岡産農産物の付加価値を高める取組みに対する支援 ・学校給食への高岡産農産物の活用促進
中山間地域の振興	・中山間地域などにおける農業生産活動の支援

めざすまちの姿２

魅力的な仕事と安心して働ける環境がある

成果目標（５年後の到達目標）

市内製造業事業所数	中心市街地における歩行者・自転車通行量	新規就農者数（累計）
（令和６年度） 566 事業所 （令和 13 年度）⇩ 566 事業所以上	（令和７年度） 12,800 人/日 （令和 13 年度）⇩ 13,180 人/日	（令和 13 年度まで） 45 人以上

ＫＰＩ（重要業績評価指標）

指標名	基準値	R13 年度 目標値
創業件数	（令和４～６年度平均） 167 件/年	170 件/年
インターンシップ参加人数	（令和７年度） 33 人/年	40 人/年
ワーク・ライフ・バランス推進事業所の新規認定数	（令和４～７年度） 22 事業所	30 事業所
新規就農相談件数	（令和３～７年度） 53 人/年	65 人/年

２　魅力的な仕事と安心して働ける環境がある

（１）新産業創出・経営力の強化

現状と課題

●魅力的な仕事の不足が一因となり、都市部へ人が流出し、地場の雇用や地域経済に影響を及ぼしています。若年層や女性の仕事の選択肢を広げるため、新産業の創出が求められています。

●既存産業の成長鈍化により、多様なニーズに応える魅力的な仕事や安心して働ける環境が不足しています。新たな価値と多様な働き方を生み出し、仕事の選択肢を広げるため、起業・創業に挑戦できる環境の整備が必要です。

●脱炭素社会への移行など産業構造が大きな変革期にあります。持続可能な地域社会を構築するためには、本市の基幹産業であるアルミ産業をはじめとした循環経済（サーキュラーエコノミー）の構築など、新たな地域産業の創出に向けた多様な連携が必要です。

施策の展開

新産業創出の推進

〇若年層や女性の仕事の選択肢を広げるため、新産業の創出等への研究開発等を支援するとともに、新たなビジネスモデルの構築等のための取組を支援します。

起業・創業に挑戦できる環境の整備

〇仕事の選択肢を広げるため、地域事業者の創業・第二創業への取り組みを支援します。

〇新たな価値創出や多様な働き方に挑戦できる環境を構築するため、産官学金連携によるサポート体制の強化や起業家育成、マッチング支援を行います。

産学官金民連携による循環経済（サーキュラーエコノミー）の推進

〇脱炭素社会への移行など産業構造変革期において、持続可能な地域社会を構築するため、産学官金民の連携を強化し、新たな地域産業の創出に向けた技術開発や人材育成、ビジネスモデル構築等を推進します。

今後５年間の主な取組

新産業創出の推進	・ものづくり技術等を活かした新分野・新事業の展開支援【再掲】
起業・創業に挑戦できる環境の整備	・産業支援機関や金融機関とのネットワークを活用した創業・事業承継・経営力強化に取り組む事業者への支援（たかおか型ビジネスサポート体制の構築） ・学び・開業から事業承継までのすべてのステージでの支援 ・起業家教育の推進
産学官金民連携による循環経済（サーキュラーエコノミー）の推進	・アルミのアップグレードリサイクル技術の社会実装に向けた取組等 ・ものづくり技術等を活かした新分野・新事業の展開支援【再掲】

２　魅力的な仕事と安心して働ける環境がある

（２）働きやすい環境づくりの推進

現状と課題

●仕事と家庭生活等との両立や個々の事情に応じた柔軟な働き方など、働く人達のニーズは多様化しています。年次有給休暇等の取得促進やフレックスタイム等の柔軟な勤務形態への対応など、ワーク・ライフ・バランスの実現を図り、誰もが自分らしく活躍できる環境を整備することが重要です。

●若年層の雇用は、全年齢層を上回る失業率や高い早期離職率など、厳しい局面が続いています。約 61 万人の無業者が存在する一方で、企業の採用難は深刻化しており、特に若い女性の転出超過が地域の労働力不足と人口減少を加速させています。今後は、若者や女性に選ばれる魅力的な就業環境を整え、地域への定着を強力に促していくことが不可欠です。

●有効求人倍率は依然高水準で推移し、求職者優位の状況が続いています。また、インターンシップなどを通じた早期接触や、求職者が企業を選ぶ傾向が強まるなど、人材獲得競争が激化しており、企業の人材確保・人材採用力の強化が必要とされています。

●少子高齢化の進行に伴い生産年齢人口が減少する中、地域経済の振興を図るためには、インクルーシブな視点での幅広い労働力の確保が必要です。年齢・性別・障がい・国籍にかかわらず、すべての人が、能力や特性に応じて安心して活躍できるよう、障がいのある方に対する合理的配慮の普及など、就労環境の整備を進めることが重要です。

施策の展開

働きやすい労働環境の充実

〇国が推進する各種認定制度（えるぼし、くるみん、ユースエール）について広く周知します。また、ワーク・ライフ・バランス推進事業所認定制度について、啓発セミナーなど様々な機会を捉えて事業所等に対し認定申請の働きかけを行い、休暇取得の促進や柔軟な勤務形態の導入を図ります。

〇男女平等推進センターの講座やイベントの実施、認定事業所の取組紹介を通して、市民や事業所等に対し仕事と生活の調和についての意識啓発を図ります。

若者が働きやすい環境の充実

〇学齢期の早期段階からのキャリアサポートセミナーやマッチング会、学生対象のインターンシップ等の機会創出を通じて、地元企業への理解促進を図るとともに、新卒者の早期離職防止に向けた定着支援や無業者の就労支援に取り組みます。

〇若い女性の転出超過を抑制するため、企業における多様な働き方の導入や女性のキャリアアップ環境の整備を促進します。

人材確保対策の推進

〇市内企業の人材確保と採用力向上の強化を図るため、企業説明会やインターンシップ等、求職者と企業とのマッチング機会の提供に取り組みます。

〇市内企業の採用力強化を図るため、企業向けセミナー等により情報発信力の強化を促進します。

多様な人材が活躍できる労働環境の充実

〇市内企業の労働力確保と市内への就労を促進するため、中高年齢者や障がい者等をはじめとする幅広い求職者に対し、ハローワーク等の関係機関と連携し、市内企業との雇用マッチングを図ります。

今後５年間の主な取組

働きやすい労働環境の充実	・ワーク・ライフ・バランス推進事業所の認定 ・仕事と生活の調和に関する意識啓発 ・国の各種認定制度の周知啓発
若者が働きやすい環境の充実	・若年層の地元企業への理解促進 ・企業における若い女性の働きやすい環境整備の促進
人材確保対策の推進	・求職者と企業とのマッチング機会の創出 ・企業の採用力強化の推進
多様な人材が活躍できる労働環境の充実	・年齢・性別・障がい・国籍等にかかわらない幅広い求職者の雇用機会の創出

２　魅力的な仕事と安心して働ける環境がある

（３）中心市街地のにぎわい創出

現状と課題

●駅前東地区でのマンション開発により、統計開始以来初の社会増を達成するなど明るい兆しが見える一方、賑わいへの波及には課題が残る状況です。既存ストックを活用した持続可能なまちづくりを進めるため、空き店舗等の解消を図り、魅力的な店舗を増やすことが必要です。

●中心市街地では、年間を通じてまちの賑わい創出イベントが開催されています。消費者の来街と購買を定着させ、地域経済の好循環による持続的な賑わい創出へとつなげていくことが必要です。

●百貨店撤退後の御旅屋セリオにおいては、公共的機能の導入やテナント誘致を進めてきました。引き続き、多世代が交流する「中心市街地の中核拠点」として充実を図り、中心市街地全体に人が流れるよう取り組む必要があります。

●中心市街地内のマンションやアパートにはファミリー層の流入が見られます。安心して子育てできる環境整備や公共交通ネットワークと連携した生活利便機能の向上により、居住人口の維持・向上に努める必要があります。

施策の展開

持続可能なまちづくりの推進

〇空き店舗の状況を調査し、当該物件に対する情報を広く発信することで、利用希望者とのマッチングを図ります。

〇空き店舗を活用した新規開業を支援するほか、所有者から賃借した物件を改修し、借り手とマッチングした上でサブリースする事業者に対する支援を実施します。

まちの賑わいの創出

〇中心市街地を訪れるきっかけとなるイベント実施に加え、各エリアで開催されるイベントを面的につなげることで、まちの回遊性を高めます。

〇地産品や個店の魅力を発信し、地域消費を促す「高岡型バイローカル」活動を展開することで、イベントに出店する個店と消費者を結び付け、イベントの賑わいを日常的な賑わいにつながるよう取り組みます。

多世代が交流する中核拠点の整備

〇御旅屋セリオは中心市街地の中核に位置する施設であることから、まちなかの生活基盤としての機能を保持するとともに、関係機関等と協力しながら、賑わい創出と回遊性向上の拠点施設となるよう取り組みます。

まちなか居住の推進

〇新たな店舗の開業促進など生活環境の向上を図るとともに、まちなか区域における住宅の取得及び改修等への支援に取り組みます。

〇保育所等や教育支援施設の整備による子育て環境の充実や、居住エリアと都市機能を結ぶ公共交通機関全体の利便性向上により、中心市街地における生活利便機能の向上に取り組みます。

今後５年間の主な取組

持続可能なまちづくりの推進	・空き店舗の現況調査及び物件情報の発信 ・空き店舗を活用した新規開業に対する支援
まちの賑わいの創出	・来街機会の創出や回遊性向上を図るイベント等の実施 ・個店と消費者を結び付ける施策の展開
多世代が交流する中核拠点の整備	・魅力的なテナント誘致支援及び公共機能の充実 ・集客力のあるイベント等の開催及び支援
まちなか居住の推進	・快適な生活環境の創出 ・中心市街地における子育て環境の充実 ・城端線・氷見線の再構築 ・公共交通の利用促進

２　魅力的な仕事と安心して働ける環境がある

（４）田園エリアの振興

現状と課題

●本市農業の担い手は、高齢化や後継者不足に直面していることから、農地の維持管理が困難になり、荒廃農地が増加する懸念があります。農地の集積・集約化や、効率化・省力化、コスト削減等の取り組みを進め、次代を担う意欲ある担い手の確保・育成を図る必要があります。

●市民の環境への関心が高まっている中、農業を持続可能なものとするため、農業における環境負荷低減の意識向上を図ることが求められています。

●本市では、イノシシ等による農作物被害が大きな割合を占めるほか、クマによる市民生活が脅かされる危険性が高まっています。農作物等への被害を抑制するため、捕獲等の対策を強化していく必要があります。

●近年の気候変動による自然災害が激化、頻発化しており、農地やため池等の施設において多大な被害が発生しています。災害があっても農業生産活動が継続的に行えるよう、農地防災への取り組みが必要です。

施策の展開

担い手の確保・育成

〇次代の地域農業の担い手を確保するため、新規就農を志す人に対し、適切な支援ができるよう、支援メニューの充実に取り組みます。

〇農作業の効率化・省力化や、若年世代への円滑な技術の継承を図るため、スマート農業技術の導入促進に取り組みます。

〇地域の中心となる担い手や、経営規模の拡大を目指す意欲ある農業者等に対し、農地の利用集積が円滑に進むよう、農地の集積・集約化の促進に取り組みます。

環境にやさしい農業の推進

〇化学肥料・化学合成農薬の使用の低減など、環境に配慮した営農活動を通じた環境負荷の軽減に取り組みます。

〇市内畜産業者で発生する牛糞堆肥の施用など、地域資源を活かした農業の促進に取り組みます。

鳥獣被害防止対策の推進

〇野生鳥獣による農作物への被害を軽減するため、電気柵等の侵入防止柵や、捕獲等による個体数管理、藪の刈払いといった生息環境管理に取り組みます。

農地防災の推進

〇農地などの溢水被害を解消し、安全安心な農村環境づくりを促進します。

今後５年間の主な取組

担い手の確保・育成	・新規就農者・後継者確保の推進 ・スマート農業技術の導入支援 ・担い手への農地の集積・集約化の促進
環境にやさしい農業の推進	・環境にやさしい農業への支援 ・地域資源を活かした農業の促進
鳥獣被害防止対策の推進	・鳥獣被害防止対策に係る支援
農地防災の推進	・農地防災事業の促進

めざすまちの姿３

歴史や文化に彩られた魅力があふれている

成果目標（５年後の到達目標）

芸術・文化事業入場者数及び文化施設入館者数	高岡古城公園の入込客数
（令和７年度） 246,800 人/年 ⇩ （令和 13 年度） 246,800 人/年以上	（令和７年度） 1,085,500 人/年 ⇩ （令和 13 年度） 1,152,200 人/年

ＫＰＩ（重要業績評価指標）

指標名	基準値	R13 年度 目標値
地域の歴史文化に関する出前講座や体験教室等の回数	（令和７年度） 15 回/年	18 回/年
芸術・文化を鑑賞した人数	（令和７年度） 9,635 人/年	9,635 人/年以上
「工芸都市高岡の秋。」来場者数	（令和７年度） 43,680 人/年	43,680 人/年以上

３　歴史や文化に彩られた魅力があふれている

（１）地域資源の魅力向上

現状と課題

●本市独自の歴史や文化、ものづくり、祭り・イベントといった多様な観光資源がある一方で、その魅力が十分に知られていません。観光資源の歴史的な背景や物語を伝え、より深い体験を提供する取り組みが必要となっています。

●高岡古城公園は、四季折々の美しい自然が楽しめる都市公園であると共に、高岡城築城当時の遺構を残す国指定史跡です。しかし、植生の密生や生育不良による眺望の阻害、堀への土砂堆積などによる史跡の保存への影響が課題となっています。

●市内には、高岡城跡などの史跡や国宝の瑞龍寺や勝興寺に代表される歴史的建造物や歴史的町並みが残り、高岡御車山祭などの祭礼行事や伝統的な工芸技術など、有形無形の文化財が数多く受け継がれてきています。一方で、文化財を保護する担い手の減少や文化財が失われる恐れがあることから計画的に史跡、建造物などの文化財の修理・整備を行うとともに祭礼行事等に用いる用具の修理など保存継承活動への支援を行う必要があります。

●地域の文化財や文化財同士の関係性など郷土の歴史文化を知り、理解を深めることはふるさと高岡に対する郷土愛が育まれ、地域の魅力づくりにつながります。次世代の文化財の担い手となるこどもたちをはじめ、気軽に郷土の歴史文化に触れる機会を充実していく必要があります。

●古文書など調査が進んでいない分野もあり、また、市内には未だ発見されていない文献資料なども多く存在すると考えられることから、文化財や郷土の歴史に関する資料収集や調査を進めていく必要があります。

施策の展開

観光資源の磨き上げ

○歴史、文化、ものづくりなど高岡の強みをはじめ、祭り・イベントといった多様な観光資源を活かし、歴史や文化をより深く知っていただき、祭り・イベントなどを通じて深く体験できる仕組みを構築することで、観光客の満足度向上と再訪意欲の向上に取り組みます。

○本市が誇るものづくりの技術や職人の想いなどを観光資源として最大限に活用し、来訪者により深い体験を提供するため、地域資源に込められたストーリーの掘り起こしや、ものづくりの魅力を直接体感できる新たな体験プログラムの造成支援に取り組みます。

高岡城跡の魅力向上

○国指定史跡である「高岡城跡」（高岡古城公園）の価値と魅力を維持・向上させるため、樹木整理をはじめとした魅力の磨き上げに係る取り組みを推進します。

文化財の保存・継承

〇文化財の保存・継承のため、指定等文化財の保存・整備や文化財所有者等への支援に取り組みます。

郷土学習機会の充実

〇市民に文化財に対する理解を深めてもらうため、文化財などの歴史・文化に関する郷土学習の機会の充実に取り組みます。

文化財の調査研究

〇地域資料の保存と継承を図るため、地域資料に関する情報収集や調査に取り組みます。

今後５年間の主な取組

観光資源の磨き上げ	・祭礼行事、イベントの開催への支援 ・地域資源のストーリー構築・掘り起こしの支援 ・地域資源を活かした体験プログラム造成の推進 ・地域資源を活かした観光施策の推進
高岡城跡の魅力向上	・景観再生事業の推進(樹木整理) ・高岡城跡保存整備事業の推進（史跡の解説案内の充実等） ・高岡古城公園の魅力磨き上げの更なる推進
文化財の保存・継承	・国宝、重要文化財や史跡をはじめとした指定等文化財の保存・整備等の推進 ・文化財修理等に対する支援
郷土学習機会の充実	・出前講座や体験教室などの実施
文化財の調査研究	・古文書等の地域資料を継承するための事業の推進

３　歴史や文化に彩られた魅力があふれている

（２）歴史資産を活かした景観の創出

現状と課題

●市内には、歴史的な町並みや建造物、伝統工芸、地域固有の祭礼などが一体となり、独自の風情を醸し出していますが、伝統産業従事者や祭礼の担い手不足が懸念されており、行政・事業者などが連携して町並みの保全や歴史的建造物の活用を進め、都市全体のイメージ向上に取り組む必要があります。

●市内には、二上山や雨晴海岸など緑と水に恵まれた美しい自然があふれています。また、固有の歴史、伝統、文化などの優れた地域特性も受け継がれており、その魅力を活かした景観の保全と活用に取り組む必要があります。

施策の展開

景観に調和したまちづくりの推進

〇山町筋、金屋町、吉久、池の端通り、旧北陸街道福岡等での町並みの保全とその周辺環境との調和に取り組みます。

〇伏木地区において、歴史的建造物等の保存、利活用を進めることで、地域の歴史・文化資産の継承を図るとともに、能登半島地震からの復興とエリア一体の魅力向上に取り組みます。

自然景観の保全・活用

〇自然景観や歴史的・文化的な景観、快適な住空間を守り、秩序ある景観の保全・活用に取り組みます。

今後５年間の主な取組

景観に調和したまちづくりの推進	・道路修景整備事業の推進 ・景観形成重点地区等における建物修景等に対する支援
自然景観の保全・活用	・歴史的風致の維持・向上 ・屋外広告物の適正化に向けた指導・助言

３　歴史や文化に彩られた魅力があふれている

（３）芸術・文化活動の推進

現状と課題

●芸術・文化活動は、世代を超えて楽しむことができ、人とのつながりを育み、暮らしの質や心の豊かさを高めます。しかし、伝統芸能、生活文化など、担い手が減少している分野もあります。地域に根差した芸術・文化活動の支援に加え、新たに参画する市民の裾野が広がるよう、こども・若い世代をはじめとする幅広い世代が、芸術・文化活動に触れ、親しむ機会を増やすことが必要です。

●本市には万葉故地としての万葉文化、伝統工芸などのものづくり文化、伝統芸能、華道や茶道などの生活文化、伝統的な町並みなど多様で豊かな文化があり、市民の手によって受け継がれています。しかしその魅力と価値はまだ十分に周知されているとは言えません。さらに多くの市民が高岡固有の文化に理解と愛着を深め、主体的に、継承や発信に関わっていくことが必要です。

●本市では、文化力を活かして産業・観光などの活性化を図るため、市民や企業、団体、学生等の連携に努めてきました。近年、全国的にも芸術・文化そのものの振興を起点としながら、まちづくり、観光、産業、福祉、国際交流等との連携強化により、様々な社会課題の解決につなげることが求められています。

施策の展開

地域に根差した芸術・文化の振興

○より多くの市民が芸術・文化活動に触れ、親しむことができるよう、高岡市民文化振興事業団と連携し、鑑賞・発表の機会の創出や、情報発信を行います。また、こどもたちや子育て世代を対象とした取り組みにより、芸術・文化活動の次世代への継承に努めます。

文化資源に関する市民の理解促進

○高岡市万葉歴史館や高岡市美術館などの文化施設を運営し、高岡の文化資源に理解を深められる展示、講演会や講座、体験プログラム等を提供します。また、主体的に継承や発信に携わる市民活動を支援します。

分野を超えた連携の強化

○さまざまな分野の関係者が連携し、本市の文化力を活かして、新たな価値や文化、産業を創出し、市民の暮らしの質や豊かさを高めていく「文化創造都市高岡」の取り組みを推進します。

今後５年間の主な取組

地域に根差した芸術・文化の振興	・文化振興事業団と連携した鑑賞・発表の機会の提供 ・こどもたちや子育て世代への鑑賞・体験の機会の提供 ・文化・芸術活動に関する情報の発信
文化資源に関する市民の理解促進	・高岡市万葉歴史館、高岡市美術館、高岡市立博物館、ミュゼふくおかカメラ館、高岡市 藤子・Ｆ・不二雄ふるさとギャラリーの運営 ・こどもたちが本市の歴史・文化に親しむ機会の提供
分野を超えた連携の強化	・文化力を活かした地域活性化の取り組みの推進

めざすまちの姿４

地域の魅力を活かした交流が拡大している

成果目標（５年後の到達目標）

高岡市の観光客入込数	市内宿泊者数	高岡市への転入者数
（令和７年度） 3,488 千人/年 （令和 13 年度）⇩ 3,850 千人/年	（令和７年度） 280 千人/年 （令和 13 年度）⇩ 308 千人/年	（令和５～７年度平均） 4,850 人/年 （令和 13 年度）⇩ 5,000 人/年

ＫＰＩ（重要業績評価指標）

指標名	基準値	R13 年度 目標値
大規模コンベンションの市内開催件数	（令和７年度） 19 件/年	30 件/年
産業観光に係る整備事業への支援件数（累計）	（令和７年度） ０件	１件
移住相談件数	（令和７年度） 475 件/年	550 件/年
SNS（「高岡観光ナビ」Instagram）のフォロワー数	（令和７年度） 3,455 人	6,000 人

４　地域の魅力を活かした交流が拡大している

（１）戦略的な観光の推進

現状と課題

●個人旅行へのシフトやインバウンドの増加に加え、より深い体験を求める観光へのニーズが高まるなど、観光を取り巻く環境は大きく変化しています。本市が旅行先として選ばれる場所となるためには、本市独自の歴史や文化など多様なニーズに対応するコンテンツの開発や、受入態勢等の整備が求められています。

●新たな価値観の創出などにより観光趣向も多様化しており、ものづくりの文化を活かした産業観光の重要性が高まっています。「ものづくり」を活かした体験コンテンツの充実を図ることが重要となっています。

●本市への観光客の滞在時間や観光消費額は、伸び悩んでいる現状があります。近隣地域との連携をより強化し、地域の多様な観光資源を活かした周遊ルートの構築や観光商品の提供、魅力の発信に総合的に取り組む必要があります。

施策の展開

観光受入態勢の整備

○増加するインバウンドや個人旅行者の満足度を高め快適に滞在できるよう、多様なニーズに対応する観光コンテンツの開発を支援するとともに、多言語での案内等、安心して周遊できる受入態勢の整備に取り組みます。

○本市独自の歴史や文化を活かした体験をより深く楽しんでもらい、本市が選ばれる旅行先となるため、観光事業者や地域住民と連携したおもてなしの心の醸成や、多様なニーズにきめ細やかに対応できる受入態勢の強化に取り組みます。

産業観光の推進

○観光志向の多様化に対応するため、ものづくり文化を活かした産業観光を推進します。伝統工芸や最先端の製造現場の見学・ワークショップ等の「体験型コンテンツ」の造成を支援し、地域産業の魅力を国内外に発信します。

広域観光の推進

○本市への訪問機会を増やし、観光消費額の増加を図るため、近隣地域と連携した広域的な周遊ルートの構築や、多様な観光資源を組み合わせた魅力的な観光商品の開発に取り組みます。

○本市を含むエリア全体の多様な観光資源の魅力を総合的に発信し、より多くの誘客を図るため、近隣自治体や関係機関と連携したプロモーションや効果的な情報発信に取り組みます。

今後５年間の主な取組

観光受入態勢の整備	・多言語による観光情報提供の推進 ・地域資源を活かした体験プログラム造成の推進【再掲】 ・地域ぐるみの観光ホスピタリティ向上の推進 ・多様な観光ニーズに対応する受入態勢構築の支援
産業観光の推進	・産業観光に係る施設整備等への支援 ・ものづくりをはじめとした産業の魅力発信 ・地域資源を活かした体験プログラム造成の推進【再掲】
広域観光の推進	・広域周遊ルート構築の推進 ・広域連携による観光商品開発の支援 ・個人、団体旅行の誘致促進 ・広域で連携した観光プロモーションの推進

４　地域の魅力を活かした交流が拡大している

（２）関係人口・交流人口の拡大

現状と課題

●人口減少が進行する中、高岡市に居住していなくても本市に継続的に関わりを持ち、多様な形で地域を支える「関係人口」の増加に取り組んでいます。地域活力の維持につながるアクティブな関係人口の拡大や、地域との円滑な連携が求められています。

●高岡市への移住・定住を希望する方を増やすため、地域の魅力発信や相談体制の充実に取り組んでいます。移住や定住の一層の促進に向け、子育て、雇用、住宅など、総合的な施策に取り組む必要があります。

●歴史文化・産業・自然といった高岡市の特長を活かし、国内外との多様な交流活動が行われています。多様な交流を一層促進し、地域の活性化につなげることが求められています。

施策の展開

市外在住者との関係の深化・拡大

〇本市に関心を有する市外在住者との接点の拡大に取り組み、関係人口の創出と市外在住者との関係の深化を図ります。

〇多様な形で本市を支える関係人口を可視化し、地域の担い手確保へと展開することで、地域活力の維持・向上を図ります。

移住・定住の促進

〇移住前の相談から移住後の地域定着まで、就業支援、創業支援、空き家活用等を組み合わせた総合的な支援体制を構築します。

〇高岡市でのしごとや暮らし、地域の魅力を伝え、移住・定住に繋がるよう、戦略的な情報発信に取り組みます。

多様な交流活動の促進

〇高岡市の歴史文化資産や産業、豊かな自然環境等への関心や興味をきっかけとした様々な交流活動を推進します。

〇姉妹都市・友好都市と、文化、教育などによる交流活動を推進します。

今後５年間の主な取組

市外在住者との関係の深化・拡大	・ふるさと納税や各種イベント等を活用した本市の魅力発信 ・市外在住者と関わりを深める機会の創出 ・関係人口に関する情報の可視化の推進
移住・定住の促進	・移住・定住に向けた切れ目のない支援の構築 ・快適な生活環境の創出
多様な交流活動の促進	・学生の研究活動などフィールドワークに対しての支援 ・姉妹都市・友好都市との交流の推進

４　地域の魅力を活かした交流が拡大している

（３）国内外に向けた発信力の強化

現状と課題

●高岡市の魅力を国内外に伝えるため、様々なメディアや情報化社会に対応した情報発信に努めています。更なる誘客促進や関係人口の拡大を図るため、市民一人ひとりが発信源となる意識や機運の醸成、戦略的な情報発信に取り組む必要があります。

●日本を訪れる外国人旅行者数は過去最高を記録しているものの、本市における観光需要拡大の効果は限定的となっています。本市への観光誘客をさらに加速させるため、様々なメディアを活用した、より効果的な情報発信を継続的に実施する必要があります。

施策の展開

シティプロモーションの強化

○関係人口の創出や交流の拡大につなげるための新たなシティプロモーションを展開し、本市の情報発信力の強化とシビックプライドの醸成につなげます。

○市民一人ひとりが主体となってまちの魅力を発信する機運の醸成に取り組みます。

情報発信の強化

○増加するインバウンドをはじめとする国内外の観光需要を本市へ呼び込むため、ターゲット層の特性に応じた多角的な手法による情報発信を実施します。

今後５年間の主な取組

シティプロモーションの強化	・外部人材の登用 ・シティプロモーションの展開 ・新たなブランディング戦略の推進
情報発信の強化	・インバウンド誘致活動の推進 ・多言語による観光情報発信 ・ターゲットに応じた効果的な情報発信